

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	酒田市 (06024)
地域名 (地域内農業集落名)	北部地区 (三軒茶屋・元泉・西野・高砂・古湊・谷地田・光ヶ丘1・光ヶ丘2・光ヶ丘北・市街地北部)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	43.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	44.2 ha
② 田の面積	27.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	16.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)

①については、農業委員会の農地台帳ではなく、酒田農業振興地域整備計画の面積に基づいている。

⑤については区域内に特定することができないため、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載している。

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・他の地区と比べて農地の面積が少なく法人もない。  
 ・認定農業者を中心に担っていく意向であるが、5年後、10年後には貸付意向の農地が増えることが予想されるため、隣接する西荒瀬地区と課題を共有し入り作の受け入れを促進する必要がある。  
 ・一部に基盤整備が行われていない小規模区画の農地が存在すること、農地周辺の道路に未整備の箇所があるため機械の持ち込みに難があることが、他地域からの入り作者の受け入れを難しくしている。  
 ・新たな担い手の確保に向けた取り組みを促進しつつ、基盤整備事業等の活用を検討し、作業の効率化を図る必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・地域農業の担い手である認定農業者等への集積・集約化を進めていく。  
 ・離農や規模縮小する農業者の農地は、原則、農地中間管理事業を利用して、地域内の規模拡大意向のある担い手へ集積・集約し、地域内で担い手が不足する場合は、入り作等の検討を行う。  
 ・隣接していて、互いに耕作者の出入りがある西荒瀬地区の担い手とも、今後、地域課題共有をしつつ地域の方向性を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手の農地利用集積状況調査(令和6年3月末)で、既に市全体の80パーセント以上の農用地が「効率的かつ安定的な農業経営を営む者」へ集積されていることが確認できるため、現状の農地利用の在り方を目標地図とすることを基本とする。併せて、酒田市農地集積センターによる農地マッチングにおいて、別添の目標地図に示されている考え方に配慮することで長期的な農地の集約化を目指す。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	55.8	%	将来の目標とする集積率 80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
酒田市農地集積センターによる農地マッチングにおいて、別添の目標地図に示されている考え方に基づく農用地の集約化を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
酒田市農地集積センターによる農地マッチングの調整を通じて、担い手への農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
離農や規模縮小する農業者の農地は、原則、農地中間管理事業を利用して、地域内の規模拡大意向のある担い手への集積・集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
今後、必要に応じて農用地の大区画化・汎用化の実施について検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市と関係機関が連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
共同による作業効率化が期待できる作業については農業支援サービス事業者等への委託も検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

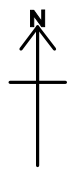
【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害が、営農意欲の減退、遊休農地の増加等をもたらすことから、鳥獣被害対策実施隊による野生鳥獣の追い払いや駆除等を実施する。また、野生鳥獣の誘因除去等、地域住民自身が実施できる対策や、実施隊の役割の重要性の周知にも取り組む。
- ②環境負荷低減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、酒田市スマートオーガニック検討会を中心として、「スマート農業」と「環境にやさしい農業」を掛け合わせた本市独自の「スマートオーガニックシティ」の形成に向け、化学合成農薬・肥料の使用低減や有機農業を推進する取り組みを進める。
- ③省力化や低コスト化を実現するスマート農業機械、設備の導入を促進するとともに、知識や科学的根拠に基づいた農業を実践できる農業人材の確保・育成に取り組む。
- ④大豆・麦等の国内自給率向上を目指す国の政策転換に対応するため、必要に応じて水田の畑地化を進める。また、酒田地区農産物輸出推進協議会を中心に農産物の海外販路拡大に取り組む。
- ⑤大雨、強風、降雹等の自然災害や高温少雨などの気候変動の影響を最小限にするために、生産設備の整備や栽培技術の確立に取り組む。
- ⑦多面的機能支払交付金事業や中山間地域等直接支払制度の活用により、農地及び農業用施設の保全に努めるとともに、排水路の管路化を進めることで草刈り作業の省力化を進める。
- ⑧カントリーエレベーター等が老朽化していることから、統合・再編を前提とした改修や新設を検討する。
- ⑨液肥やたい肥を使用し生産されたWCSやデントコーン等の飼料用作物を家畜に供与することで、耕種農家と畜産農家の連携を図る。
- ⑩令和6年7月25日からの大雨によって被害を受けた農地及び農業機械等の復旧に取り組む。

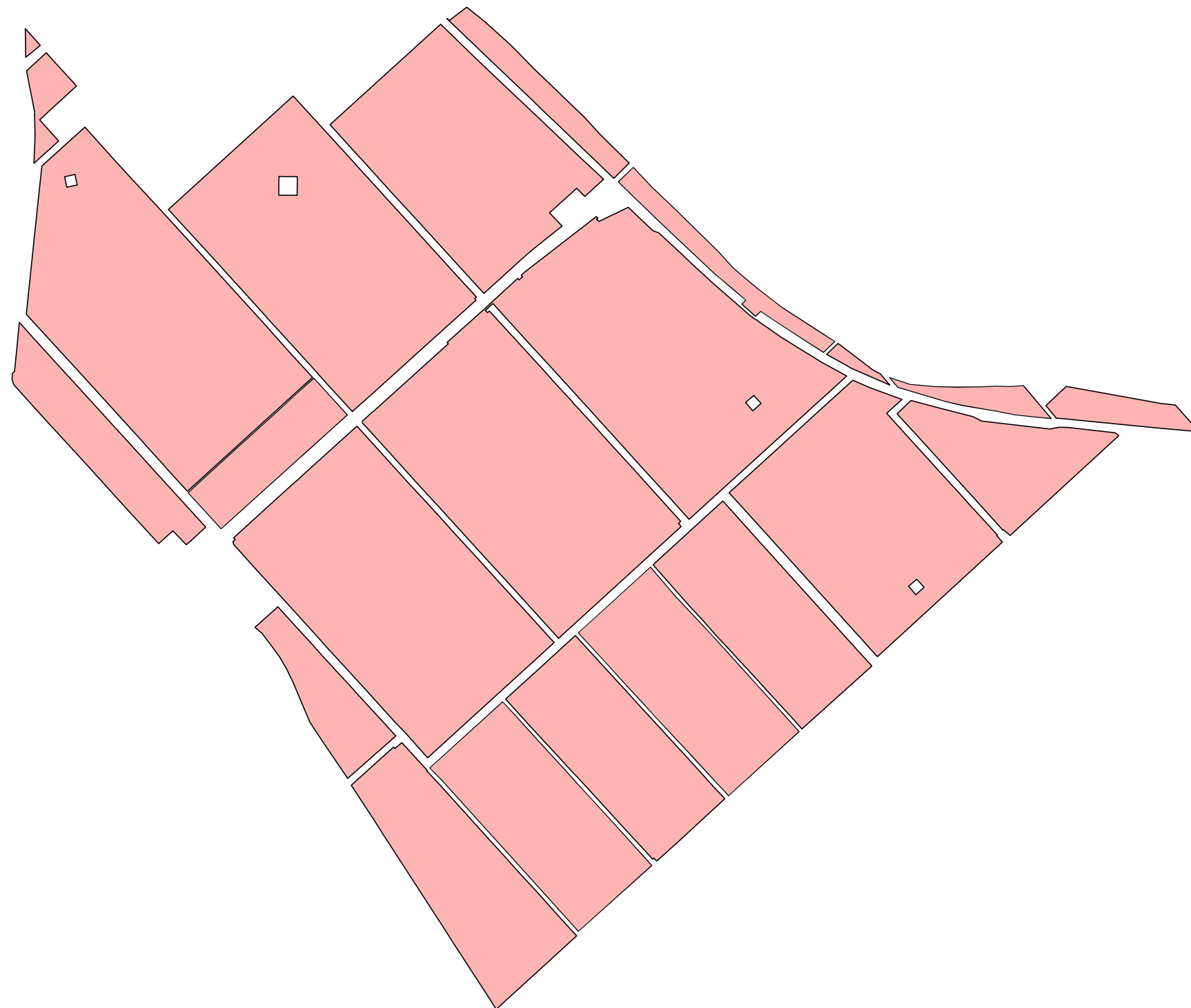


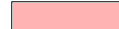
4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考	
1	認農	担い手1	稲作	0.30 ha	- ha	稲作	0.30 ha	- ha	担い手1	
2	認農	担い手2	稲作	5.13 ha	- ha	稲作	5.13 ha	- ha	担い手2	
3	認農	担い手3	稲作	1.98 ha	- ha	稲作	1.98 ha	- ha	担い手3	
4	認農	担い手4	稲作	1.83 ha	- ha	稲作	1.83 ha	- ha	担い手4	
5	認農	担い手5	稲作	8.33 ha	- ha	稲作	8.33 ha	- ha	担い手5	
6	認農	担い手6	複合経営	0.28 ha	- ha	複合経営	0.28 ha	- ha	担い手6	
7	認農	担い手7	稲作	0.27 ha	- ha	稲作	0.27 ha	- ha	担い手7	
8	認農	担い手8	稲作、園芸	0.08 ha	- ha	稲作、園芸	0.08 ha	- ha	担い手8	
9	認農	担い手9	複合経営	0.13 ha	- ha	複合経営	0.13 ha	- ha	担い手9	
10	認農	担い手10	稲作	0.09 ha	- ha	稲作	0.09 ha	- ha	担い手10	
11	認農	担い手11	稲作、園芸	0.08 ha	- ha	稲作、園芸	0.08 ha	- ha	担い手11	
12	認農	担い手12	稲作、園芸	0.13 ha	- ha	稲作、園芸	0.13 ha	- ha	担い手12	
13	認農	担い手13	複合経営	0.53 ha	- ha	複合経営	0.53 ha	- ha	担い手13	
14	認農	担い手14	園芸、その他	2.05 ha	- ha	園芸、その他	2.05 ha	- ha	担い手14	
15	到達	担い手15	園芸	0.28 ha	- ha	園芸	0.28 ha	- ha	担い手15	
16	到達	担い手16	稲作、園芸	2.43 ha	- ha	稲作、園芸	2.43 ha	- ha	担い手16	
17	到達	担い手17	-	0.05 ha	- ha	-	0.05 ha	- ha	担い手17	
18	認農	担い手18	稲作	0.06 ha	- ha	稲作	0.06 ha	- ha	担い手18	
19	認農	担い手19	複合経営	0.02 ha	- ha	複合経営	0.02 ha	- ha	担い手19	
20	認農	担い手20	園芸、その他	0.02 ha	- ha	園芸、その他	0.02 ha	- ha	担い手20	
21	認農	担い手21	複合経営	0.02 ha	- ha	複合経営	0.02 ha	- ha	担い手21	
22	認農	担い手22	園芸、その他	0.02 ha	- ha	園芸、その他	0.02 ha	- ha	担い手22	
23	認農	担い手23	稲作	- ha	- ha	稲作	- ha	- ha	担い手23	
24	到達	担い手24	-	- ha	- ha	-	- ha	- ha	担い手24	
25	認農	担い手25	稲作	0.09 ha	- ha	稲作	0.09 ha	- ha	担い手25	
26	認農	担い手26	複合経営	0.01 ha	- ha	複合経営	0.01 ha	- ha	担い手26	
27	認就	担い手27	-	0.23 ha	- ha	-	0.23 ha	- ha	担い手27	



# 地域計画目標地図（北部地区）



彩色区分	法人等名称
	担い手1他（2、3、4、5、7、14、15、16、27）